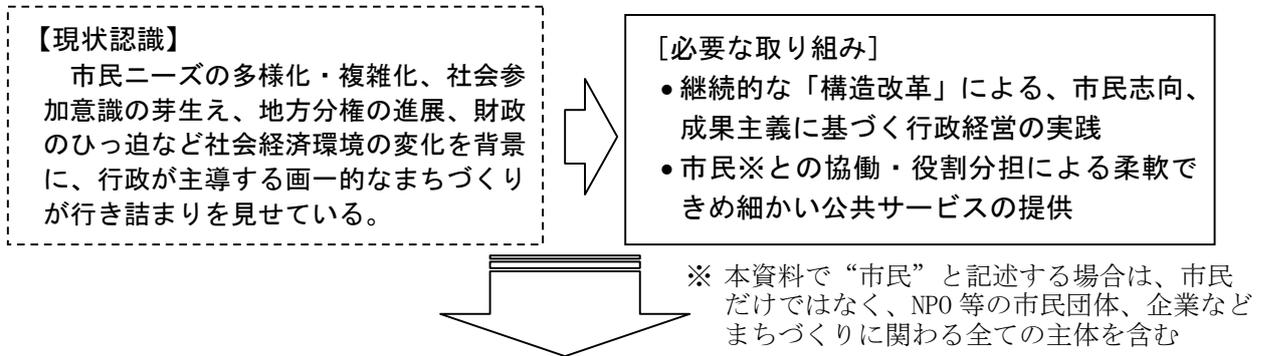


江南市戦略計画策定方針について

1. めざす“まちづくり”への取組み



◆戦略計画策定のあり方◆
地域の主役は市民、NPOなどの市民団体、企業など様々であり、これからのまちづくりは、こうした様々な主体と行政が相互に信頼関係を築き、協力して市の将来像や目標を考え、実現していく必要がある。そのため、市民と協働して戦略計画の策定に取り組む。

戦略計画策定の理念：**共に選択し、共に担う地域社会の実現**

2. 戦略計画策定の趣旨

戦略計画は、『構造改革』の取組みを更に一歩進め、「共に選択し、共に担う地域社会の実現」という策定の理念に基づき、時代に合った新しいまちづくりを具現化するものであり、これからのまちづくりの指針として位置づけられるものである。

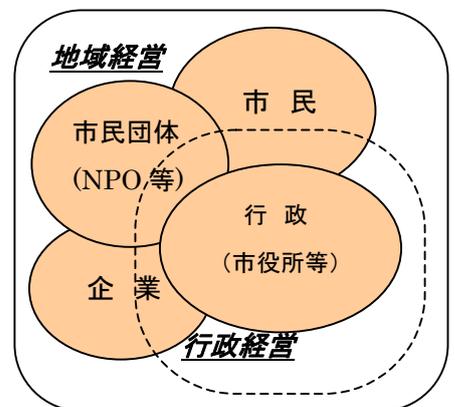
なお、次期総合計画は、「施策の選択と資源の集中」による戦略性の高い計画として策定するため、名称を「江南市戦略計画」とするものである。

3. 戦略計画の機能と構成

豊かで住みよいまちとするためには、“行政を経営する（行政経営）”という視点に加え、“地域全体を経営する（地域経営）”という視点を持つことが重要である。

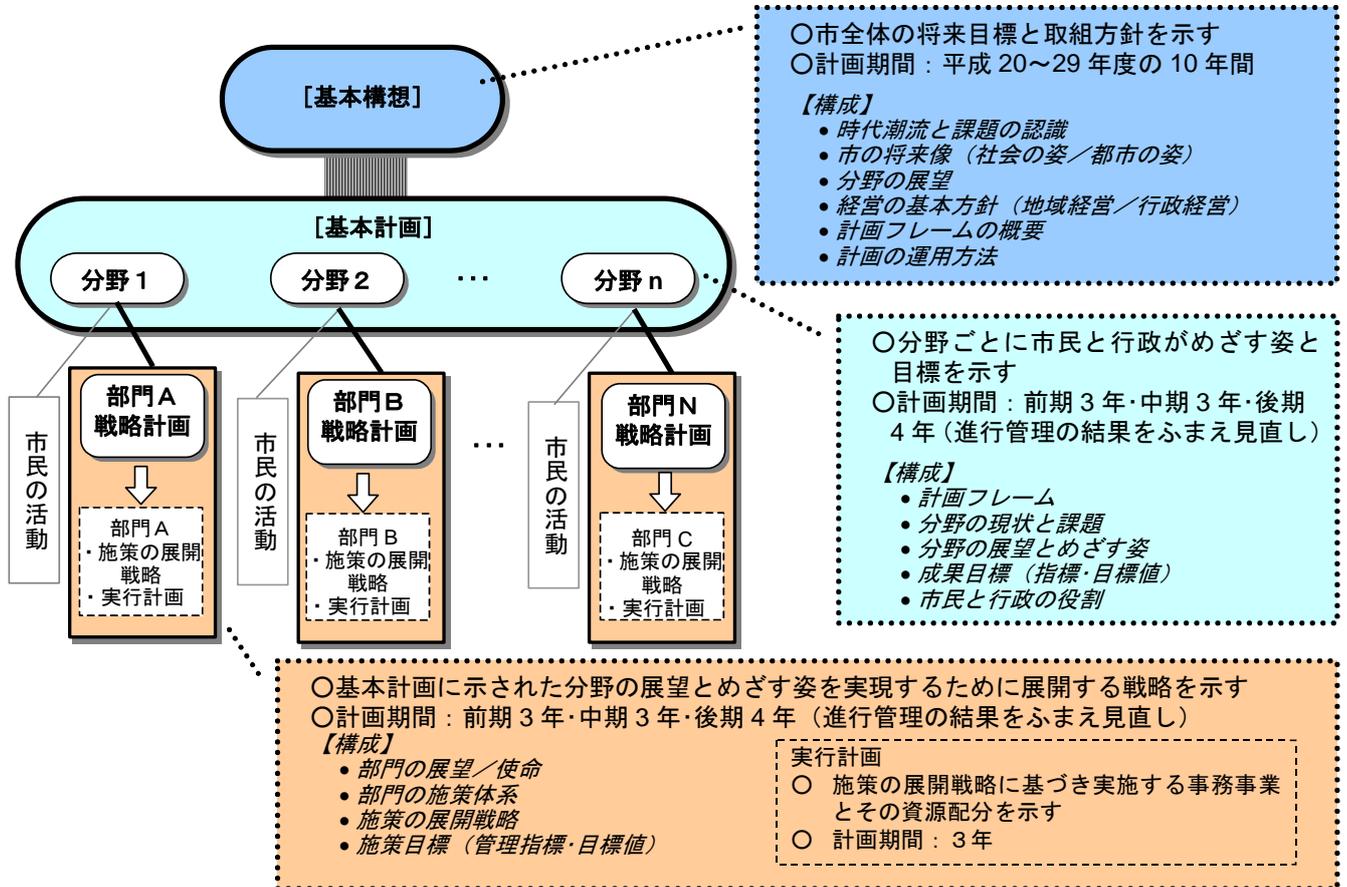
①地域経営
江南市という地域の中の市民、市民団体、企業と行政が、市の将来像や目標を共有し、それぞれの得意な分野で力を発揮し、その実現に向け、協力し合うこと。

②行政経営
地域の将来像や目標を実現するために、行政の役割、成果を挙げるための推進すべき施策、予算や人員をどれだけ費やすか、などの方針を明らかにして、創意工夫を行う中で、限られた予算や人員で最大の成果を生み出すこと。



[戦略計画の機能]

- 市の「将来像」や「目標」を市民と共有するための『地域経営の指針』
- 地域経営の指針に基づく、行政としての長期的な戦略を示す『行政経営の指針』



4. 戦略計画策定の留意点

- 「市民志向」および「成果主義」を徹底する
- 「高めるべき価値の選択」と「資源の集中投下」に貢献する計画とする
- 市民との協働により、内容の充実、認識の共有および合意形成を図る
- 各部門ごとに責任をもって成果目標の実現に取り組み、適切な進行管理をする

5. 戦略計画実現に向けた取り組み

平成 20 年度以降の、戦略計画による行政経営を実効性のあるものとするために、計画策定と並行して以下の環境整備を進める。

- 協働のまちづくりのためのルール・しくみづくり
- 各部門への権限と責任の移譲
- 成果に基づく（戦略計画に沿った）組織体系づくり
- 進行管理・評価制度のしくみづくり

6. 戦略計画策定における市民参画の考え方

共に選択し、共に担う地域社会の実現を具体化するためには、できるだけ多くの市民の参画を募り、理念に関する理解と共有を図ることが必要

